

平成26年度(2014年度) 学級経営に関する研究  
**教員生活スタートのイメージが持てる  
滋賀県版「学級経営スタートブック(小学校編)」の作成**

—採用内定者研修会から初任者研修を通して活用できる研修資料の開発—

研究員 神 戸 道 代

**研究の背景** 着任からわずか1週間で新学期。その時初任者は？

4月は、担任の方針を示し、学級の基礎を作る大変重要な時期である。しかし、初任者は着任からわずか1週間で経験豊かな教員と同じように一つの学級を担い、学級づくりを進めていかなければならない。見通しの持ちにくいまま、学級事務に追われ、1年間の基礎を固めるための指導が後手となり、そのことが学級で起こる様々な課題の原因になる場合も少なくない。

**目 的** 初任者が安心して新学期に臨める支援をする

初任者それぞれが、教員に求められる資質を自覚し、見通しを持って新年度の学級経営をスタートできるよう滋賀県版「学級経営スタートブック(小学校編)」を作成する。

**研究の方法と概要** 「挑戦したい!」「もっと知りたい!」と思える冊子を目指して

**1 現場の声を集め、分析する**

- ・ 県総合教育センターが実施している初任者研修(小学校)、教職2年次研修(小学校)の受講者に初任時の学級経営の不安や悩み等についてのアンケート調査を実施・分析し、初任者が求める情報や課題を把握する。
- ・ 研究協力校において、経験豊かな教員から実践事例などの聞き取りをする。

**2 集めた声を基に、学級経営スタートブックを作成する**

**《学級経営スタートブックの構成》**

第1章は、まず担任としてやるべきことをイメージしてほしいと考え、年度当初の学級経営を中心とした内容にした。

第2章は、採用までにじっくり読み進めてほしいと考え、主に教員としての資質や人間関係づくりについての内容にした。

**《学級経営スタートブックの特徴》**

初任者が「やってみよう」「もっと知りたい」と思える提案や学び続ける姿勢につながるための工夫を様々な切り口で取り入れた。

- ・ 教員生活を身近に感じたり、その実感を持ったりするための「近江発!先輩の声」と「アンケート結果」の紹介
- ・ 初任者が自ら考え、書き込める「ワークシート」の設定

**成 果** 教員生活スタートの支援ができるスタートブックの完成

初任者の年間を通じての教員生活に対するモチベーションの変化や、悩み、欲しかった情報等をアンケート調査により明らかにした。その分析を生かし、より具体的で初任者のニーズに応じたスタートブックを完成させた。

平成26年度(2014年度) 学級経営に関する研究 研究構造図

